

■木造住宅の啓発の第2回講演会 を開きました—1月24日那覇市で

沖縄・国際物流拠点形成研究会（主宰：齋藤勁・元衆議院議員）が主催して、木造住宅の啓発のための第2回講演会を、1月24日（金）午後、那覇市の八汐荘で開きました（写真）。



今回は、ふんだんに木を使った医院として有名な「空の森クリニック」（沖縄県八重瀬町）の建築・施工に携わった菅沼工務店（沖縄県恩納村仲泊）の菅沼正典代表から、その体験をふまえて、『「空の森クリニック」を建築して一人にやさしい木造りの家—』のテーマで、講演していただきました。

今回は、ふんだんに木を使った医院として有名な「空の森クリニック」（沖縄県八重瀬町）の建築・

■沖縄にふさわしい木造住宅を建てたい

（文責：本研究会事務局）



菅沼正典氏

滋賀県出身、大工の家庭で育ち、大工を志してから修行を積んで、建築士となり、11年前に沖縄に来ました。沖縄本島や、石垣島、阿嘉島の離島で保育園、環境省関係の施設など、木造建築に取り組んできて、「空の森クリニック」の建築・施工に携わることになりました。

滋賀県出身、大工の家庭で育ち、大工を志してから修行を積んで、建築士となり、11年前に沖縄に来ました。沖縄本島や、石垣島、阿嘉島の離島で保育園、環境省関係の施設など、木造建築に取り組んできて、「空の森クリニック」の建築・施工に携わることになりました。

＊「空の森クリニック」 / 八重瀬町屋宜原。
建築主・医療法人杏月会。
敷地面積・1万2,762㎡。
建築面積・3,487㎡。延床面積・2,966㎡。
木造一部RC造り。地上1階。
設計・手塚建築研究所。施工・(株)沖電工。

◆患者の気持ちや和らげる木造りの医院

「空の森クリニック」は県内の木造建築物としては最大級の建物です。その医療法人は「人の気持ちを和らげる木造りの良さを利用して患者のストレス（気持ち）を和らげて治療に生かそう」という考えで、木造りのクリニック（医院）を建築されました（事務局：シャワールームもあり、緑の庭が見える広々とした病室。写真参照）。



平屋で（低層の造りにして）広々とした土地、空間を活かしたリゾートホテルのような建物

です。世界的にも有名な設計士と、優れたランドデザイナーに、沖電工が施工に当たり、当社が、建築・施工に携わったわけです。

県内の大工 20 数名が参画しました。利用する木材はもっぱら石川県の「能登ヒバ」を使い（「ヒバ」は湿気に強く腐りにくく、耐久性、耐朽性に優れている）、桁を長くし、その際生じるズレを防ぐため、「刻み加工」の技術を採用しています。



◆建築コストが安く、人・環境にやさしい

木造建築の良さ（メリット）は、（RC造りに比べて）建築コストが安いこと、そして、人や環境にやさしい—という点です（次ページの「木の家9つのいいところ」を参照）。

県内の木造住宅は増加傾向にあります。ハウスメーカーのものが大半です。やはり沖縄では、沖縄にふさわしい木造住宅を建てていくことが大事ではないかと考えています。

《 質 疑 》

- Q) 木造住宅に適した内装材として CO2 を低減させ、吸湿性のあるものが開発されている。
- Q) 健康を考え、家庭用整水器の設備も必要。
- Q) 木造住宅の台風（強風）対策はどうか。
- A) 耐風力は、RC造りの方が上。木造の場合、強風による揺れがある。RC造りの欠点は湿気や内部結露などがある
- Q) 木造住宅は火災に弱いのではないかと。
- A) 事務局) 木材でも例えば 120mm 角の太めの柱は、燃えにくく、燃え尽きにくいという特性がある。鉄骨も火に強いわけではなく、鉄骨は火災でぐにゃっと曲がり、つぶれてしまうが、木造は、柱が残り、住んでいる人が逃げる余裕（時間）を稼げることになる。
- Q) 住宅は 30 年ほどで建て替えというのが当たり前のようにになっているが、本格的木造住宅ならば 70、80 年永く住めるのではないかと。
- A) 20、30 年で建て替えるか、100 年住宅にしたいは、建てる側の考え方で、建てるよではないかと。

「沖縄の家」事業（後述）の展開で、沖縄の本格的木造住宅建築事業の広がり、木材や建材の海上物流が活発になることを、本研究会は、大いに期待しています。

< 次ページに続く >

木の家 9つのいいこと

その1	ココロとカラダにうれしい 快適性 人にやさしく 気持ちのいい家
その2	ココロなごませる 光の反射効果 目にやさしく 気持ちもほっこり
その3	音をまろやかにする 吸音性 コンサートホールに 木が使われる理由
その4	いつもほどよい温度に 調湿性 夏涼しく 冬暖かいヒミツ
その5	快適な室内をまかなえる 断熱性 じつはコンクリートの 12倍
その6	イヤなアイツを寄せ付けない 防ダニ効果 ダニには住み心地の 悪い木の家
その7	丈夫で長持ち 耐久性 木は軽くて 耐久性のある素材
その8	頼もしく家族を守る 耐震性 木造住宅の耐震強度は グンとアップ
その9	火災で強度が落ちにくい 耐火性 木が火に弱いというのは 間違いです

■「沖縄の家」事業グループの発足へ ——「列柱壁面体」の工法を採用した 沖縄「森林の家」の普及取組む

講演会はこのあと、「沖縄の家」事業グループ準備会より、近く（3月頃）、本事業グループを発足させて（連絡事務所を豊見城市に設置、任意団としてスタートし、早急に一般社団法人とする考え）、「列柱壁面体」の工法を採用し、在来工法（軸組工法）の本格的木造住宅である沖縄「森林の家」（本名称で商標登録を予定）を普及させていく——との報告がありました。

工法で当初、「中空列柱壁面体」として、乾燥

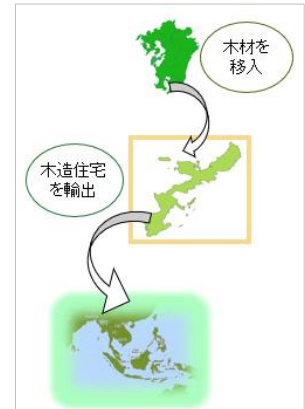
作用を考え、「壁面体」の「柱」に「中空」の溝があるものを検討しましたが、現在、乾燥技術が発達し、中空は不要とし、改良版の「列柱壁面体」の工法の研究開発に取り組んでいます。

同工法の開発しだい、いよいよ沖縄「森林の家」の建築に入ります。

◆調湿性・断熱性・吸遮音性に優れ 耐震性・耐強風・シロアリ対策を講じて 永く安心して住める住宅を実現します

沖縄「森林の家」は、ふんだんに木を使い、亜熱帯気候に適した快適で調湿性、吸しや音性があり、耐震・耐強風・シロアリ対策を講じて永く住める住宅に仕上がります。

また、材木は事前に製材プレカットし、建築現場に、それらを持ち込んで建築するため建築工期の大幅短縮を実現します（写真参照）。そのことによって建築費を軽減させるだけでなく、離島さらには海外での建築も可能となります（上図参照）。



◆各分野の業者が連携し事業グループを形成

「沖縄の家」事業グループは、県内外の林業家・設計建築士・製材プレカット業・工務店（大工）・建築関連業者らで形成



し（図参照）、グループ内の工務店が建築請負契約を締結し、グループ事務局がコーディネイトして、構成員業者が各分野の業務を分担して建築に当たります。また、木造住宅の理解を広げる啓発活動に取り組むことにしています。

第3回講演会は「沖縄と宮崎の林業の現状と課題」をテーマに3月頃開く予定です。

